

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

事業所           JSS水夢八尾          

公表日           2019年3月1日          

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		マットや壁、視覚的な情報を交えて空間や時間を整理している	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート結果に基づく保護者等の意向等を、職員全体で把握し業務改善に繋げていきたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		本アンケート結果をホームページ等で公表していく予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は実施していないが、外部講師による評価を踏まえた研修等により、業務改善につなげていきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修に積極的に参加したり、事業所にて外部講師の研修を行い、療育での実践等に活かしていきたい
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントや支援計画については保護者からの情報収集を行ったり、お子様の状況等を踏まえて、職員で話し合いを行い多面的な視点を持って作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査、知能検査の実施をこないアセスメントに活用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		年間の活動プログラム立案を職員で会議を行った後に作成している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に合わせた活動、屋内外の活動、静動の活動等、様々な体験が出来るよう立案している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している（※本事業所は土曜日のみ放課後等デイの利用がある）		○		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		様々な活動でのお子様の様子を把握して支援計画を作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		週案作成によって職員が療育のねらいを把握しておけるようにしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		療育前、療育後にミーティングを行うことで支援内容の反省や振り返り、次回に向けて等、職員で情報共有を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日誌については内容を支援に繋げていけるように、より分かりやすい内容に改善したい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			今後より丁寧な見直しを行いたい
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている				
関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		今後会議を定期的に行いたい
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			小学校との連携や他の関係機関との連携を密に行っていきたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			紹介元、園、保護者等、お子様を取り巻く関係機関との連携を今後より一層密に行いたい



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳等での情報共有の方法もとっている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域に開かれた事業運営の方法を考えていきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		お便りによる対応方法の配信や、避難訓練等を月に1回実施している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1回避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		今後虐待についての研修も取り入れて虐待防止に対する意識を高めていきたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		アレルギー物質除去のおやつを提供を行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			